

## 平成 26 年度主要事業取組概要 文化財課・歴史資料館

### 1 文化財課

#### (1) 史跡鳥坂寺跡関連

国史跡鳥坂寺跡の保存と活用のための整備等を目的に平成 24 年度に設置した鳥坂寺跡整備検討委員会について、平成 25 年度末の委員の任期満了に伴い、今年度、新委員 5 人（男性 4 人、女性 1 人）を委嘱した。（任期＝平成 27 年度末）

市の財政状況等から史跡公園整備実施計画（案）の策定は、事実上、保留の状態にある。こうしたところから、当初は整備実施計画に盛り込む予定であった史跡管理計画を独立して策定することとし、同委員会（委員長・大脇潔前近畿大学教授）で、同管理計画（案）の策定に着手した。

会議開催＝10.23 計 1 回

#### (2) 史跡高井田横穴特別公開

例年どおり、5 月と 10 月の第 3 土曜日に開催。市民歴史クラブ（長澤星二会長、18 人）と協働で、見学者の案内などを実施した。

開催日と見学者数は、次のとおり。

5 月 17 日（土）・140 人

10 月 18 日（土）・108 人

#### (3) 文化財保護関連

##### ① 市指定文化財

市文化財保護審議会（会長・塚口義信堺女子短期大学名誉学長名誉教授、7 人）から安堂遺跡出土木簡（6 点）を新たに市指定文化財に指定するよう、答申があった。（27.1.16）

同答申に基づき、教育委員会により、安堂遺跡出土木簡を市指定文化財に指定した。（27.2.22 付け指定）

##### ② 文化財説明板の設置

今年度は、次のとおり設置した。

No.	内 容	設 置 場 所	区 分	時 期
1	農商務省農事試験場畿内支場跡	JR 柏原駅西口ロータリー北側	新設	27.2.6
2	円明古墓群	円明中小企業団地 4 号公園	新設	27.2.6

今年度の設置で、市内の当課設置の文化財説明板は、計 57 か所となった。

③ 建造物詳細調査 (27.2.12~3.27)

市内青谷の旧富宅家住宅（主屋）を対象に、現地調査や写真撮影、聞き取り調査等を実施した。

④ 開発に伴う発掘調査など

文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)に基づく処理件数は、次のとおりである。

	慎重工事指示(件)	立会実施 (件)	発掘調査実施 (件)
平成 24 年度	228	16	4
平成 25 年度	194	11	1
平成 26 年度	161	11	0

※ 平成 26 年度は、平成 27 年 2 月末現在

## 2 歴史資料館

### (1) 企画展

今年度は、次のとおり開催した（一部開催中）。

- ① 夏季企画展「縄文から弥生へ ―船橋遺跡の縄文絵画土器が語るもの―」  
(7.5～8.31)  
船橋遺跡から出土した縄文時代の絵画土器を中心に縄文時代から弥生時代への変化のようすを紹介した。
- ② 秋季企画展「なぜつけかえられたのだろう ―ほんとうの大和川つけかえ運動―」  
(9.13～12.7)  
大和川の付替えをメインテーマにした、恒例の展示。主として、大和川の付替えを学習する小学4年生を対象としているが、一般の来館者も十分楽しむことができる。今年度は、農民たちによる幕府への付替え嘆願運動から幕府による付替え施工までの歴史の流れをテーマにした。  
期間の前後も含め、学校単位で見学に来館した児童数は、計 121 校・9,432 人に上り、5年連続で最多記録を更新した。
- ③ 冬季企画展「ちょっと昔の道具たち ～火のあるくらし～」(26.1.6～3.8)  
つい最近まで使われていながら、いつのまにか目にしなくなった、「ちょっと昔の道具」を紹介する恒例の展示。「高齢の世代には懐かしく、若い世代には珍しい」展示を心がけている。主として、小学生を対象としているが、一般の見学も自由。今年度は、暮らしに関わる「火」を取り上げた。  
期間中、学校単位で来館した児童数は、計 13 校・778 人だった。
- ④ 春季企画展「亀の瀬の歴史 大和・河内をつなぐ道」(27.3.28～6.14)  
各種資料を通じ、古代から陸路や水運など交通の要衝であり地すべりなど災害の地でもあった、亀の瀬の歴史をたどった。大阪府と奈良県との境界に位置することなどから奈良県王寺町、同三郷町との共同開催となった。企画展を他の自治体と共同開催するのは、今回が初めての試みである。

### (2) 特集展示

平成 24 年度末から常設展示場の一面に特集展示コーナーを設置。数か月ごとにテーマを変えて特集展示している。今年度は、次のとおり展示した（一部展示中）。

「松岳山古墳復元」(4.8～9.28)

「つけかえ後の大和川」(9.30～12.21)

「わたしの宝物」(12.23～27.3.29)

市民から公募した資料、作品などを展示。展示品の市民公募は、初めて。

(「広報かしわら」8月号と9月号で公募)

「大坂夏の陣と柏原」(27.3.31～27.9.13)

### (3) スポット展示

市民等から寄贈された民具等を「こんなものをいただきました」として、寄贈の紹介を兼ねて展示している。おおむね2か月ごとに展示替え。今年度の展示（紹介）は、次のとおり。

「御殿雛」3月～4月

「北斎漫画、北溪漫画など」5月～6月

「ガリ版（謄写版）、裁縫用ヘラ台など」7月～8月

「五つ玉そろばん、亀の瀬地すべりの絵はがきなど」（博物館実習生製作）

9月～10月

「裁縫箱と付属品、日の丸の寄せ書きなど」（職業体験学習生製作）

11月～12月

「竿秤（さおばかり）、万石通し（まんごくどおし）」平成27年1月～2月

「御殿雛」平成27年3月～4月

### (4) 普及啓発活動(各種講座、講演会等)

#### ① 文化財講演会 I

平成25年度春季企画展「柏原偉人伝・武田慎治郎」に関連して開催した。定員は90人。

4月26日（土） 受講者27人

テーマ・「武田慎治郎と武田塾 その先進性に着目する」

講師・藤原正範さん（鈴鹿医療科学大学教授）

#### ② 上映会

平成25年度春季企画展「柏原偉人伝・武田慎治郎」に関連して開催した。定員は90人。

4月5日（土）・受講者13人、5月31日（土）・受講者17人

内容・昭和初期に撮影された武田塾所蔵の映像資料の上映と内容解説

解説・石田成年主幹

#### ③ 文化財講演会 II

夏季企画展「縄文から弥生へ」に関連して開催した。定員は、各日とも90人。受講無料。

7月12日（土） 受講者54人

テーマ・「縄文弥生変革期の集落と墓地」

講師・大野薫さん（大阪府立狭山池博物館学芸員）

テーマ・「紀元前の遭遇！縄文人と弥生人—初期農耕社会誕生の謎に迫る—」

講師・森岡秀人さん（奈良県橿原考古学研究所共同研究員）

7月26日(土) 受講者43人

テーマ・「土偶と石棒からみた弥生の始まり」

講師・秋山浩三さん(大阪府立弥生文化博物館副館長)

テーマ・「絵画土器が語る精神世界」

講師・藤田三郎さん(奈良県田原本町教育委員会文化財保存課長)

#### ④ 市民歴史大学

今年度は、「縄文から弥生へ」を統一テーマに開催した。定員は、各回とも100人。受講無料。

第1回＝8月9日(土)、「縄文人はなぜ稲作をはじめたのか？」講師・矢野健一さん(立命館大学教授) 台風接近のため中止。

第2回＝8月30日(土)、「船橋遺跡の縄文絵画土器が語るもの」講師・小林青樹さん(国学院大学栃木短期大学教授) 受講者79人

第3回＝1月17日(土)・「縄文人はなぜ稲作をはじめたのか？」(講師＝矢野健一・立命館大学教授) 中止となった第1回を改めて開催。 受講者64人

第4回＝2月14日(土)・「縄文晩期のまつり―大阪平野と東日本の比較から―」(講師＝設楽博己・東京大学大学院教授) 受講者73人

#### ⑤ 文化財講座

一般市民を対象に毎年度開講している。講座と見学会。全12回。受講料は年間1人2,000円で、定員は60人。今年度は、「縄文から弥生へ」をテーマに開講した。今年度から、はがきでの申込みに変更。今年度の受講者は、63人だった。

#### ⑥ 古文書講座

一般市民を対象に毎年度開講している。市内関連の古文書を教材に古文書を読み解く講座。全10回。受講料は年間1人1,000円で、定員は25人。他市の市民も受講できる。今年度の受講者は、22人。

#### ⑦ 体験教室

小学4年生以上を対象に毎年度実施している。参加無料。

「しめなわを作ろう」定員20人。(12.7) 受講者9人。

インフルエンザの影響で当日キャンセル等があり、受講者数は例年より少なかった。

「わらぞうりを作ろう」定員15人。(26.2.1) 受講者24人。

### (5) 出張展示

今年度は、次のとおり、出張展示した。

※ 他に「大坂の陣400周年」関係の事業もある(別掲)。

#### ① 大阪府立中央図書館(9.23～10.8)

テーマ・「難波より京に至る大道を置く」

大道のルートを表示した立体地図とパネルの展示

市民歴史クラブ（長澤星二会長、18人）と共同主催。府立中央図書館が共催。

期間中、同テーマで講演会も開催（講師＝当館館長・安村俊史）。（10.4）

当館の平成25年度夏季企画展「難波より京に至る大道を置く」関連。

② 「長瀬川ウォーク」（主催・道路水路整備課）会場（大和川河川敷）（10.25）

テーマ・「大和川のつけかえ」

河川敷の集合場所で、大和川付替え関連のパネルを展示

## (6) 実習生等の受入

① 博物館実習

今年度は、大阪教育大学、大阪国際大学、近畿大学、徳島文理大学の計4大学から計5人（男性2人、女性3人）の実習生を受け入れた。（8.26～8.31）

② 職業体験学習

今年度は、1校・計3人（男子3人）を受け入れた。

柏原市立玉手中学校（3人）（11.5～11.7）

## (7) ミュージアム・グッズ

ミュージアム・グッズ第3弾として一筆箋（いっぴつせん＝短冊形の小型便箋）を作成した。希望者に販売。1冊150円。（27.1.17～）

## (8) 来館者プレゼント

今年度も次のとおり、来館者プレゼントを実施した。

① 国際博物館の日記念＝当日の来館者に日本博物館協会のクリアファイルと本市の「文化財ガイド」シリーズの5冊セットを無料プレゼント。（5.18）

② 関西文化の日記念＝各日の来館者に日本博物館協会のクリアファイルと本市の「文化財ガイド」シリーズの5冊セットを無料プレゼント。（11.15～11.16）

## (9) PR用うちわの製作と無料配布

夏季企画展「縄文から弥生へ」（7.5～8.31）をPRするため、サマージャンボ宝くじ（発売＝7.4～7.25）とタイアップしたPR用うちわ1千本を製作。7月1日から歴史資料館や市役所本庁などで希望者に配布したほか、7月上旬に市が開催したイベント会場などでも配布した。公益財団法人大阪府市町村振興協会の呼びかけによる。製作費は、全額、同協会の負担。

当館での配布にあたっては、希望者が持ち帰りやすいよう、竹製うちわスタンド（直径約12センチ×長さ約2.5メートル、孟宗竹製）を作製、設置した。同スタンドは、

葉の付いた枝を数本残し、枝に短冊などの飾りを付けるなど、七夕の笹をイメージした形とした。

#### (10) 収蔵品の他博物館等への出展(他館への貸出)

① 高井田山古墳出土の火熨斗(市指定文化財)

九州国立博物館(三輪嘉六館長、福岡県太宰府市)の特別展「古代日本と百済の交流 ―太宰府・飛鳥そして公州・扶余―」で展示。(27.1.1~3.1)

同特別展には、国宝・七支刀(奈良県石上神宮所蔵)や韓国の国宝・武寧王陵出土王墓誌石(韓国国立公州博物館所蔵)などとともに韓国武寧王陵出土の火熨斗も展示された。二つの火熨斗がそろって展示されるのは日韓を通じて今回が初めて。

② 船橋遺跡出土縄文絵画土器(市指定文化財)

大阪府立弥生文化博物館(黒崎直館長、和泉市池上町4)の冬季企画展「河内の美・技・心 ―考古学研究と船橋遺跡―」で展示。(27.1.24~4.19)

③ 高井田横穴出土の鈴付高杯

鈴鹿市考古博物館(澤井環館長、三重県鈴鹿市)の企画展「鈴―鈴の音、鐘の音、太鼓の響き」で展示。(27.1.24~3.15)

#### (11) 防火査察

文化財防火デー関連事業として、歴史資料館に対する柏原羽曳野藤井寺消防組合(本部・藤井寺市青山3)消防署による防火査察と防火指導が行われた。(1.26)

同消防組合管内の柏原市、羽曳野市、藤井寺市の3市内では、これまで毎年持ち回りで防火訓練が行われていたが、今年から文化財である防火対象物(建物など)や文化財が収蔵されている防火対象物に対する査察や防火指導なども併せて行われることとなった。同消防組合では、今後、1年目は査察・指導を実施し2年目から4年目は従来どおり3市持ち回りで防火訓練を実施するという4年間のサイクルで文化財防火デー関連の事業を展開し、文化財の防火対策などに取り組んでいきたいとしている。

#### (12) 歴史資料館等運営協議会

前任委員の任期満了に伴い、歴史資料館等運営協議会の新委員を新たに委嘱した。同歴史資料館での会議に先立ち、学識経験者や公募市民ら計8人の新委員(男性6人、女性2人)に委嘱状を交付した。(5.22)

新委員の任期は、平成26年度と27年度の2か年度。歴史資料館や隣接の史跡高井田横穴公園の効率的な運営や活用などについて、指導、助言、提言などする

#### (13) 寄付の收受

柏原市国分本町3の森井昭二郎さん(61)から「来館児童への記念品に」と鉛筆2

千本の寄付があった。森井さんは、平成 24 年 12 月から毎年度、歴史資料館に鉛筆 2 千本を寄付しており、今回で 3 度目。

寄附された鉛筆は HB で同歴史資料館の名称入り、2 本ずつ紙の袋に入れられている。館では、体験教室などの参加児童にプレゼントするなど、引き続き活用していく方針。

森井さんには、平成 27 年 1 月 19 日、市から感謝状が贈られた。

#### (14) 入館者数等

歴史資料館と柏陽庵の今年度の入館者数等は、次のとおりである。

年 度	歴史資料館入館者 (人)	柏陽庵利用者数 (人)	説 明
平成 24 年度	16,897	2,421	確定数
平成 25 年度	17,853	2,166	確定数
平成 26 年度	17,326	1,838	平成 27 年 2 月末現在

### 3 文化財課・歴史資料館 共通

#### (1) 学術連携・交流等

- ① 関西福祉科学大学学外体験講義 (5.17)  
高井田横穴特別公開当日、関西福祉科学大学（江端源治学長、旭ヶ丘3）の「総合教養Ⅰ－河内学－」の学外体験講義が開講（講師＝安村俊史館長）され、同講義受講の学生ら58人が歴史資料館で講義を受けた後、横穴を見学した。
- ② 私立東邦大学付属東邦高校（千葉県習志野市）東邦考古学研究会（顧問・山岸良二）の高校生ら計10人が来館 (7.31)  
歴史資料館と史跡高井田横穴公園を見学。
- ③ 大阪教育大学非常勤講師派遣（10月～平成27年3月）  
一般教育科目「地域史としての考古学」の講義。  
講師＝安村俊史館長、受講生＝180人

#### (2) 出前講座

出前講座は、あらかじめ用意されたメニュー（テーマ）の中から町会や市民グループなどの受講希望団体が選び、その申込みに応じて実施している市の事業である。今年度中、当課（館）が担当して実施した出前講座は、次のとおり。

- ① 「地域の歴史」＝堅下小学校で、6年生を対象に実施。受講者約80人。(4.15)
- ② 「歴史資料による回想法」＝介護老人保健施設「知恵の輪苑」で、入所者等を対象に実施。受講者各約60人。(6.11、6.18)
- ③ 「綿の歴史と綿くり体験」＝堅上小学校で、4年生を対象に実施。受講者約20人。(11.21)

#### (3) 講演会等への講師派遣、委員委嘱等

他の市町村や博物館、大学、市の他部署等からの依頼により、当該各団体が主催する講演会等へ講師を派遣している。併せて、各団体の設置する各種委員会委員への委員委嘱を了承等している。今年度の派遣、委嘱等の状況は、次のとおりである。

※ 他に「大坂の陣400周年」関係の事業もある（別掲）。

##### 講師派遣

- ① サンヒル柏原健康セミナー「歴史資料が読み解く古代人の健康」(7.16)  
講師・山根航  
受講者・100人（定員）
- ② おいな～れガイドの会「業平伝説を訪ねて」(7.31)  
講師・安村俊史館長  
受講者・30人

- ③ 福井市清水南公民館(玉村啓二館長・福井県)・公民館まつり郷土学習講演会(7.20)  
講師・石田成年主幹  
テーマ・「同市清水南地区出身の偉人・武田慎治郎の生涯」  
当館の平成 25 年度春季企画展「柏原偉人伝 武田慎治郎 ～高井田における社会事業の実践～」関連。同公民館の招きによる。  
受講者・約 80 人
- ④ 八尾市立しおんじやま古墳学習館「河内の古墳を知ろう」(8.2)  
テーマ・高井田山古墳について  
講師・安村俊史館長  
受講者・30 人
- ⑤ サンヒル柏原健康ツアー「柏原ぶどうの歴史」(9.10)  
講師・石田成年主幹  
受講者・100 人(定員)
- ⑥ 八尾市二俣長寿会総会記念講演(9.20)  
テーマ・中河内八尾二俣地域の移り変わり  
講師・安村俊史館長  
受講者・40 人
- ⑦ 大阪歴史博物館(栄原永遠男館長、大阪府中央区大手前4) 特集展示「新発見！なにわの考古学2014」関連講演会「大阪の歴史を掘る2014」(10.26)  
テーマ＝「難波から都への道―古代官道の変遷―」  
講師＝安村俊史館長  
当館の平成 25 年度夏季企画展「難波より京に至る大道を置く」関連。  
当初、10 月 13 日開催の予定が台風のため、10 月 26 日に延期される。  
受講者・250 人(定員)
- ⑧ 柏子屋(柏原市教職員)「大和川付替えの通説を見直す」(11.1)  
講義と現地見学案内  
講師・安村俊史館長  
受講者・25 人
- ⑨ おいな～れガイドの会「大洪水から柏原船へ」(27.1.11)  
講師・山根航  
受講者・40 人
- ⑩ NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会「石川流域の前期古墳」(27.1.24)  
講師・安村俊史館長  
受講者・約 50 人
- ⑪ 大阪府立弥生文化博物館(黒崎直館長、和泉市池上町4) 冬季企画展「河内の美・技・心―考古学研究と船橋遺跡―」考古学セミナー(27.1.31)

テーマ・「考古学・古代学史にかがやく船橋遺跡」

講師・安村俊史館長

船橋遺跡出土縄文絵画土器（市指定文化財）の同館への出展関連

受講者・170人（定員）

- ⑫ 中河内地区（柏原市など3市）・南河内地区（6市2町1村）社会教育委員研究大会（27.2.18）

講師＝石田成年主幹

柏原市峠の亀の瀬地すべり対策地で開催。両地区内各市町村の社会教育委員や関係職員らが対策工事の排水トンネルや旧大阪鉄道の亀の瀬トンネルなどを見学。

受講者・約50人

- ⑬ 中河内3市教育委員会連絡協議会研修会（27.2.20）

講師・山根航

中河内地区3市、柏原市、八尾市、東大阪市の教育委員らが、史跡高井田横穴公園内の公開古墳・高井田山古墳（5世紀）などを見学。サンヒル柏原（同市高井田）で、各市教委の状況などについての意見交換。

受講者・18人

- ⑭ フローラル市民大学講座「大坂の陣と豊臣家」（27.2.27）

講師・天野忠幸

受講者・40人（定員）

- ⑮ サンヒル柏原健康セミナー「柏原と大坂の陣」（27.2.28）

講師・天野忠幸

受講者・約100人

- ⑯ 松原市民ふるさとびあプラザ特別展「松原市誕生」冬季歴史講座「南河内と近代化遺産」（27.2.28）

講師・石田成年主幹

テーマ・「身近にある文化財」

受講者・80人（定員）

- ⑰ 安中新田会所跡旧植田家住宅の企画展「八尾のまちなみ」（27.3.8）

講師・石田成年主幹

テーマ・「JR八尾駅とその周辺」

受講者・40人（定員）

- ⑱ 恩智川クリーンアップ当日の「歴史散策」（27.3.15）

講師・山根航

参加者・8人

※ 市民歴史クラブの要請による。恩智川クリーンアップの担当課は環境保全課。

## 委員委嘱

- ① 柏原市立堅下小学校評議委員  
安村俊史館長 任期＝5月21日～平成27年3月31日
- ② 安堵町（奈良県生駒郡）文化財保護審議臨時委員会委員  
石田成年主幹 任期＝9月1日～平成28年2月6日

## (4) 関係各委員会等開催状況等

当課（館）関係の各委員会の状況等は、次のとおりである。

- ① 鳥坂寺跡整備検討委員会  
執行機関の附属機関に関する条例（昭和39年条例第24号）の改正（平成26年4月1日施行）により、これまで規則に依っていた設置根拠が条例に位置づけられた。  
同条例第2条（別表）により設置。  
委員数＝5人（男性4人、女性1人）  
委員長＝大脇潔前近畿大学教授  
任期＝平成26年度～平成27年度（2か年度）  
今年度の会議開催状況＝1回（10.23）
- ② 文化財保護審議会  
柏原市文化財保護条例（平成18年条例第55号）第44条により設置。  
委員数＝7人（男性4人、女性3人）  
会長＝塚口義信堺女子短期大学名誉学長名誉教授  
任期＝平成25年度～平成26年度  
今年度の会議開催状況＝2回（9.19、27.1.16）
- ③ 歴史資料館等運営協議会  
執行機関の附属機関に関する条例（昭和39年条例第24号）の改正（平成26年4月1日施行）により、これまで規則に依っていた設置根拠が条例に位置づけられた。  
同条例第2条（別表）により設置。  
委員数＝8人（男性6人、女性2人）  
会長＝塚口義信堺女子短期大学名誉学長名誉教授  
任期＝平成26年度～平成27年度  
今年度の会議開催状況＝1回（5.22）

## (5) 刊行物

今年度発行の刊行物は、次のとおりである。

※ 「大坂の陣400周年」関係の刊行物については別掲。

- ① 夏季企画展図録「縄文から弥生へ」（7.5発行）  
A4判、本文24ページ、オールカラー、700部発行。関係機関に配付したほ

か、希望者に1部300円で実費頒布。

- ② 「ゴンドラ」No.11(8.22 発行)  
歴史資料館のミニ情報誌。A4判、4ページ、オールカラー、3千部発行。無料配布。
- ③ 「館報」No.26(2013年版)(9.5 発行)  
1か年度の歴史資料館の業務概要等をまとめた冊子。A4判、本文88ページ、1色刷り、450部発行。関係機関に配付したほか、希望者に1部400円で実費頒布。
- ④ 柏原市古文書調査報告第10集「南西尾家文書目録Ⅱ」(9.30 発行)  
国分村南西尾家所蔵寄託文書の調査報告。A4判、本文86ページ、一部カラー、400部発行。関係機関に配付したほか、希望者に1部400円で実費頒布。
- ⑤ 史跡高井田横穴公園案内パンフレット(改訂新版)(11.28 発行)  
蛇腹折り、縦21センチ×横10.5センチ(広げると横42センチ)、オールカラー。5千部発行。希望者に無料配布。
- ⑥ 史跡鳥坂寺跡解説パンフレット(2015年版)(27.3.9 発行)  
A4判、8ページ、オールカラー、2千部発行。希望者に無料配布。
- ⑦ 「柏原市内遺跡群発掘調査概報(平成24年度・25年度版)」(27.3.31 発行)  
A4判、本文8ページ、写真・図版11ページ、400部発行。関係機関に配付したほか、希望者に1部300円で実費頒布。
- ⑧ 春季企画展図録「亀の瀬の歴史 大和・河内をつなぐ道」(27.3. 発行)  
A4判・本文40ページ・オールカラー、700部発行。関係機関に配付したほか、希望者にも1部500円で実費頒布。

## (6) ニュース提供、情報発信等

郷土の歴史や文化財、文化財課・歴史資料館の活動等をPRするため、公式ホームページへの掲載や報道機関へのニュース提供等を積極的に行っている。

今年度は、地元ローカル紙の発行回数が昨年度末から減少(月4回発行→月1回発行)したことや今年度初めの地元FM局の本市内設置局閉鎖などの影響により、掲載等の件数が近年に比べて減少した。こうしたところから、従来のニュース記事に加え、「文化財(郷土史)コラム」等の執筆に力を入れるとともに、地元郷土史関係雑誌等への投稿を積極的に行うなどした。

また、公式ホームページのリニューアルに伴い、当課ホームページについても大幅に刷新、文化財課ニュースのサイトに加えて文化財コラムのサイトを充実させたほか、新たにトピックスのサイトを設け、「大坂の陣と柏原」や春季企画展関連で「亀の瀬」を連載で紹介するなどしている。

提供したニュースの本数、これらが新聞等に掲載された延べ件数（ラジオ、テレビ等で放送されたものを含む）は、次のとおりである。

年 度	提供本数（本）	掲載等（延べ）（件）	説 明
平成 24 年度	62	67	確定数
平成 25 年度	50	54	確定数
平成 26 年度	61	36	平成 27 年 2 月末現在

※ 「広報かしわら」、「館報」への提供・掲載を除く。

※ 掲載等件数には、報道機関が提供の有無にかかわらず独自取材して掲載等したものも含む。

独自取材による掲載等の例（平成 26 年度）

福井新聞「福井市で武田慎治郎の講演会」（7.22 付け）

J:COM「夏季企画展開催中」（8.18～24、放送）

J:COM「しめなわを作ろう」（12.15～21、放送）

J:COM「冬季企画展開催中」（27.1.26～2.1、放送）

プロパン産業新聞「冬季企画展で陶器製ガスコンロを展示」（27.2.17 付け）

コラムのホームページへのアップ件数と雑誌等での掲載件数は、次のとおり。

年 度	コラム（本）	雑誌等掲載（件）	説 明
平成 23 年度	2	2	アップ開始、確定数
平成 24 年度	4	1	確定数
平成 25 年度	3	1	確定数
平成 26 年度	35	6	確定数

## 4 大坂の陣400周年関係

今年度と来年度（平成27年）は、慶長19年（1614）の大坂冬の陣、慶長20年（1615）の大坂夏の陣の400周年にあたるところから、今年度から来年度にかけて、大坂の陣関係の事業を展開することとした。今年度実施した事業は、次のとおりである。

### (1) 出張展示

「かしわら歴史まつり」（主催・大坂の陣400年事業柏原実行委員会）会場（リビエールホール地階レセプションホール）（10.11）

テーマ・「大坂夏の陣と柏原」

内容・大坂冬の陣と夏の陣の経過、豊臣方の武将・後藤又兵衛の略歴や夏の陣関係文書について解説したパネルなどの展示。

大坂冬の陣・夏の陣の経過説明パネルなどについては、市立玉手山公園内歴史館に展示のパネルなどを借用した。

### (2) 特集展示

「大坂夏の陣と柏原」（27.3.31～27.9.13）

### (3) 講師派遣

#### ① 人権推進課「男女共同参画社会づくり講座」（7.4）

テーマ・「大坂夏の陣を歩く」

講師・安村俊史館長

受講者・25人

#### ② 市教職員初任者研修フィールドワーク・市内史跡見学ウォーキング（7.30）

大坂夏の陣の古戦場である同市玉手地区を巡る約4キロのコースで実施。

講師・ウォーキングリーダー＝安村俊史館長

参加者＝小・中学校の初任教員や教職経験の少ない講師ら計25人（男性12人、女性13人）。市教委指導課の中西弘指導主事が同行。初任者研修フィールドワーク・市内史跡見学ウォーキングは、毎年恒例の行事。

### (4) 刊行物

文化財ガイドパンフレット「大坂夏の陣を歩く 柏原 玉手山周辺」（9.30発行）

A3判、観音折り（4つ折り）、折りたたんだサイズは縦21センチ×横10.6センチ、オールカラー。5千部発行。希望者に無料で配布。

10月11日の「かしわら歴史まつり」（主催・大坂の陣400年事業柏原実行委員会）当日、市民文化会館リビエールホール地階レセプションホールで実施のパネル展「大坂の陣と柏原」の会場でも無料配布した。

## (5) 情報発信

「大坂の陣と柏原」のテーマで、市の広報誌「広報かしわら」に特集を掲載するとともにコラムを連載した。掲載状況は、次のとおり。

併せて、課のホームページにもアップした。

特集＝10月号（2ページ）

連載＝11月号～平成27年4月号（計6回）

上記以外のテーマでホームページにアップした大坂の陣関係のコラム及び新聞紙上に掲載された記事は、次のとおりである。

### ① コラム

「知られざる古戦場 石川と大和川との合流点付近」（10.30）

「鉄砲は、どう構えたのか？」（27.3.2）

「小松山で散った後藤又兵衛の名は？」（27.3.13）

### ② 記事

「又兵衛が 幸村が 大坂の陣 400年 兵どもが夢の跡」

（スポーツ報知・7.2 付けフリーペーパー）

「大坂の陣四百年 決戦 幸村と双璧 後藤又兵衛」

（産経新聞・27.3.10 付け夕刊）

※ いずれも独自取材による。